

令和 6 年 6 月 24 日現在

機関番号： 1 4 4 0 3
研究種目： 奨励研究
研究期間： 2023 ~ 2023
課題番号： 2 3 H 0 5 0 4 4
研究課題名 小学校図画工作科鑑賞領域における他教科との教科連携による教材開発

研究代表者

野網 学 (Noami, Manabu)

大阪教育大学・附属学校園・小学校教諭

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 480,000 円

研究成果の概要：昨年度の奨励研究において、記述の質の向上を目指して国語科と連携した教材を開発することで、作品に対する児童の理解が深まったことを確認した。しかしながら、国語科との連携により、美術作品の鑑賞から感じ取ったり考えたりしたことの記述の質は向上したものの、カリキュラム・マネジメントの観点から連携できた教科は国語科のみであったということが課題として残された。そこで本研究では、これまでの実践研究で得られた成果を発展させ、国語科以外の教科とも連携した教材開発を行うことで、さらに深く広がりをもった鑑賞学習の実現を目的とする。具体的には、算数科、理科、社会科、音楽科、道徳科との連携をした題材開発を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

日本美術教育学会研究チームが 2015 年に実施した「鑑賞学習についての全国調査」によれば、約 45%の教師は教材不足と時間不足から学習指導要領における「鑑賞の能力」を十分に指導できていない。今回の研究で開発した題材に代えて、これまでの研究で開発した題材を精査し、作成した授業案を冊子にして大阪市をはじめとする全国の小学校教員や日本美術教育学会員、研究者に配布した。また、研究に基づいた発表や論文の投稿をする。これらにより、小学校教師の鑑賞学習への積極的な取り組みを支援できた。

研究分野： 図画工作科鑑賞領域

キーワード： 図画工作科 鑑賞学習 対話による鑑賞 小学校 感じ取る力

(1) 研究の目的

日本美術教育学会研究チームが2015年に実施した「鑑賞学習についての全国調査」によれば、約45%の教師は教材不足と時間不足から学習指導要領における「鑑賞の能力」を十分に指導できていない。そこで執筆者は、教材不足の問題を解決するために、2020、2021、2022年度の奨励研究において、全学年の鑑賞学習に適した具体的な教材開発と国語科との連携した教材開発を行った。児童の図画工作科における鑑賞力の資質・能力の向上を目指して「内化－外化－内化」を往還する学習サイクルを授業デザインの軸とした教材を開発し、「自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること」と「思考力、判断力、表現力」を育成できることを示した（日本美術教育学会学会誌『美術教育』No.305掲載）。さらに、記述の質の向上を目指して国語科と連携した教材を開発することで、作品に対する児童の理解が深まったことを確認した（日本美術教育学会学会誌『美術教育』No.307掲載）。

昨年度の科研費奨励研究において、国語科との連携により、美術作品の鑑賞から感じ取ったり考えたりしたことの記述の質は向上したものの、カリキュラム・マネジメントの観点から連携できた教科は国語科のみであったということが課題として残された。

そこで本研究では、これまでの実践研究で得られた成果を発展させ、国語科以外の教科とも連携した教材開発を行うことで、さらに深く広がりをもった鑑賞学習の実現を目的とした。具体的には、算数科、理科、社会科、音楽科、道徳科との連携をした題材開発を行った。

(2) 研究成果

例えば、1年生の算数科「いろいろなかたち」の単元目標である「立体について、箱や缶を用いて立体を組み立てる活動や、立体の面に着目して写し取った形を生かして絵をかく活動などを通して、ものの形を認めたり、形の特徴を考えたりするとともに、形に親しみながら学ぶ態度を養う。」ことで得た知識・技能である「立体模型から、『まる』、『さんかく』、『しかく』をきちんと写し取ることができる。」を活用した。児童机の中のオレンジ色の収納箱の仕切りには、「かたち」が型抜きされている。その仕切りを使い、図画工作科鑑賞領域では、葛飾北斎作《神奈川沖浪裏》から「まる」、「さんかく」、「しかく」といった形を認めて写し取り、作品の中の形の特徴を考えた。

山と波の形が作る三角の相似形や波の円運動の起結を発見した児童は多かった。個人で考えた後、指導者のiPadに書き込み、スクリーンに映し出して学級全体で共有した。自分が気付いていない「かたち」が発表されると驚きの声が上がった。算数科と連携した美術鑑賞学習は一定の効果があったと考える。波濤の先が恐竜や鳩など、雲が人や熊などに見えたという形を見立てた意見も少なからずあったので、「かたち」の特徴を考えると形を見立てることを授業展開の中で分けることができるよう心掛けたい。高学年の算数科では、対角線や円をコンパスで描く等の知識・技能が増えるため、更に絵の中の「かたち」の発見が多くなると予想される。



児童の振り返り

- ・ ほくさいさんのえに、いろいろなかたちがあることやいろんなどころにいろいろなかたちがあることがわかった。じぶんが気づかなかったことがあって、いろいろなかたちがかくれていることがわかった。
- ・ えの中に、いろいろなかたちがかくれているのが、よくわかりました。かたちには、いろいろなしゅるいがあることがわかってたのしかったです。
- ・ ほくさいさんは、かたちをいろいろなばしょにあてはめたんだとおもって、すごくさいのうがあるとおもいました。
- ・ さいしょは、あんまり見つけられなかったけど、あとからめちやくちや見つけられました。さいごに、なみのかたちをおもいつきました。いろんなかたちを見つけれられたので、たのしかったしうれしかったです。

主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 野網 学
2. 発表標題 小学校図画工作科鑑賞領域における 他教科との教科連携による教材開発
3. 学会等名 大阪教育大学附属平野小学校研究発表会
4. 発表年 2024年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

大阪教育大学附属平野小学校研究発表会（2024年2月10日） 発表標題「小学校図画工作科鑑賞領域における 他教科との教科連携による教材開発」 発表者 野網学
--

研究組織（研究協力者）

氏名	ローマ字氏名
----	--------